

学術論文 2012～2015 （有審査論文を掲載）
円井基史 研究員・准教授 なし
著書
2011 年 1. 藤井修二, 垂水弘夫, 円井基史, 他; “建築環境のデザインと設備（第二版）”, 市ヶ谷出版社（共著・執筆委員）, 2011.
特許 2012～2015
なし
国際会議及びシンポジウム等 2012～2015
2012 年 1. <u>M. Marui</u>; “0A Summer Outdoor Experiment on the Heat and Water Balance of Mosses” Proceedings of the 5th International Building Physics Conference (IBPC), pp. 25-29 (DVD). 2012. 都市に生育するコケ植物に着目し、「コンクリートに自生するコケ」「庭園で用いられるスギゴケ」「屋上緑化等で用いられるスナゴケ緑化材」の 3 試験体により屋外実験を行い、その夏季の熱・水収支特性を把握した研究である。 2. <u>M. Marui</u>, A. HOYANO, A. MATSUMOTO, T. ASAWA ; "Experimental Study of Pavement Body Configurations of the Evaporative Cooling Pavement System with a Focus on Rainwater Retention and Capillary Absorption" Conference Proceedings of the 10th International Conference on Concrete Block Paving, pp. 13-23, 2012. ヒートアイランド緩和を目的に、長期間、低い路面温度を維持する貯水型の舗装システムを提案し、その性能を屋外実験により確認した。また蒸発冷却効果の持続時間に関係する「有効保水量」という概念を示し、蒸発冷却舗装システムの設計指標として提案した。 3. 出村俊郎, 円井基史, 土田義郎 : 「わび・さび」の空間デザイン –PAC 分析による認知構造の把握–, Design シンポジウム 2012

(京都) , pp.127 - 131, 2012.

新聞・報道等 2012～2015

なし

講演会 2013～2015

2015 年

なし

2014 年

1. 円井基史：都市の熱環境設計 - 建築・都市における緑の活用一、石川建築設備研究会、2014 年 8 月 26 日
2. 円井基史：緑や水の微気象緩和効果を活かした都市・建築の環境設計、石川県設備設計監理協会、2014 年 11 月 12 日

2013 年

なし